

新農薬の紹介

殺菌剤インピルフルキサム（カナメ®フロアブル）の特長

住友化学株式会社 くら 倉 はし 橋 まこと 真

はじめに

インピルフルキサムは、住友化学によって開発されたピラゾール-4-カルボキサミドと呼ばれる化学グループ（FRACによる分類）に属する化合物である。本化合物は、農業上重要な植物病原糸状菌の多くに抗菌活性を示し、なかでも担子菌門（リゾクトニア菌・白絹病菌等）、および子のう菌門のクロイボタケ綱（リンゴ黒星病菌等）とズキンタケ綱（菌核病菌等）に属する菌種に対し高い抗菌活性を示す（表-1）（渡邊ら，2020）。

インピルフルキサムを有効成分（37%）とするカナメ®フロアブルは、試験番号S-2399 40SCとして2014年より一般社団法人日本植物防疫協会への委託による実用化試験を開始し、2019年9月にりんご、なし、もも等の果樹、およびねぎ、たまねぎ、きく等各種作物に対し農薬登録を取得した（農薬登録番号 第24265号，表-2）。

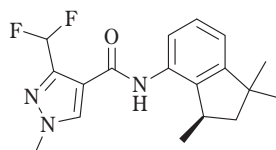
I 有効成分と物理化学的性状

一般名：インピルフルキサム（inpyrfluxam）

CAS登録番号：1352994-67-2

化学名（IUPAC）：3-(ジフルオロメチル)-N-[(R)-2,3-ジヒドロ1,1,3-トリメチル-1H-インデン-4-イル]-1-メチルピラゾール-4-カルボキサミド

構造式：



分子式：C₁₈H₂₁F₂N₃O

分子量：333.4

水溶解度：16.4 mg/l (20℃)

オクタノール/水分配係数（log Pow）：3.65 (25℃)

蒸気圧：3.8 × 10⁻⁸ Pa (20℃) 1.2 × 10⁻⁷ Pa (25℃)

商品名：カナメ®フロアブル

農薬登録番号：第24265号

農薬の種類：インピルフルキサム水和剤

有効成分の含有量：インピルフルキサム 37.0%

人畜毒性：医薬用外劇物

表-1 インピルフルキサムの菌糸生育阻害活性

界	綱	種	EC ₅₀ (mg/l)	
子のう菌門 (Ascomycota)	クロイボタケ綱 (Dothideomycetes)	<i>Venturia inaequaris</i>	0.0011	
	ズキンタケ綱 (Leotiomycetes)	<i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	0.015	
担子菌門 (Basidiomycota)	ハラタケ綱 (Agaricomycetes)	<i>Rhizoctonia solani</i> (AG1)	0.00077	
		<i>Rhizoctonia solani</i> (AG2-1)	0.0061	
		<i>Rhizoctonia solani</i> (AG2-IIIB)	0.0018	
		<i>Rhizoctonia solani</i> (AG2-2IV)	0.0029	
		<i>Rhizoctonia solani</i> (AG3)	0.0093	
		<i>Rhizoctonia solani</i> (AG4)	0.00089	
		<i>Rhizoctonia solani</i> (AG5)	0.0014	
		<i>Sclerotium rolfsii</i>	0.0046	
		クロボキン綱 (Ustilaginomycetes)	<i>Ustilago maydis</i>	0.00027

Properties of Inpyrfluxam, a Novel Fungicide. By Makoto KURAHASHI

(キーワード：殺菌剤，SDHI，担子菌病害，黒星病，カナメ®フロアブル，インピルフルキサム)